

元気な森づくりの日記念「森づくり体験活動」(第2回)活動報告

平成21年10月11日(日)実施

去る10月11日(日)、元気な森づくりの日記念「森づくり体験活動」を、鹿沼市栃窪の「生きがいの森」において実施しました。

当日は、幼児から年配の方まで20名の方々に参加いただきました。

会場に到着し、担当職員の説明の後、まず森林組合作業員によるプロの間伐作業を見てもらいました。倒す方向の決定、機械の操作、切り方の手順と、伐採作業にも安全かつ効率的な作業のためルールがある旨の説明を受け、参加の皆さんは感心しきりでした。

続いて、3班に分かれて間伐体験を行いました。作業はのこぎりを使ってのヒノキの伐採です。木の伐採はもちろん、のこぎりも普段使うことがない方が多く、初めての木の伐採に慣れぬ手つきながら皆さん一生懸命でした。15センチぐらいの木を2人で交代で1本切るのですが、のこぎりを引くにも意外と力が必要で、時間がかかっている方が多く見受けられました。それでも、苦労して切った木が倒れる瞬間はどこの班でも歓声があがっていました。

さらに参加者から、鍋敷きやコースターとして利用したいので自ら倒した木を記念に輪切りにし、持ち帰りたいとの希望がありました。皆さん思い思いのサイズに輪切りにして持ち帰りましたが、一人で何枚も切った方もいました。輪切りにしたヒノキはさわやかなにおいが残ります。参加者には良い記念品になったようです。

帰りのバスの中で、今回の体験活動に関するアンケートを実施しましたが、参加者からは「楽しみながら木や森林に関心が持てた」、「森づくりの大切さが良くわかった」などの感想をいただきました。



森林組合作業員の説明に聞き入る



自ら切った木が倒れる瞬間



輪切り作業に思わず力が入る